

だいせつぎんのすがお

# 大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

## 川が教えてくれたこと②

沢の岩にはコケがびっしりと付き、新緑からの木洩れ日は緑の光線となり、川面すらも緑となって周辺の草木もさらに緑を濃くする。自分の肺に取り込む空気も緑色に感じてむせかえる、そんな経験をしたことがあるでしょうか。

6月から7月にかけての時期は、川の風景が最も美しいと感じる時期です。河畔の樹木からは青葉が芽吹き、林床には山野草が青々と茂り、時折小さな花を付ける可憐(かれん)な植物が咲いていたりします。やや時期の遅れた話と思われる方もいると思いますが、いやいや上流ではまだまだ季節の訪れが遅いことがあります。渓流をさかのぼることは、季節をどんどんさかのぼることになり、源流の日陰地には7月でも残雪が残っていることだってあるのです。

川に通っていると、絶好の釣り日和という日があります。しかし、ヒトの感じる釣り日和なんて魚には関係のない感覚ですから、当てになりません。それでも過去の経験から、こんな場所ではこんな風に釣れるはずなのになぜか釣れない、という場合があります。

まず疑うのは、最大のライバルである釣りの先行者の有

無です。蛇の道はヘビ。やはり釣り日和に誘われるのでしょうか。先行者の有無は釣果に大きく影響しますから、まずはその有無を気にしなければなりません。魚が釣られてしまっただけでは、釣れるものも釣れませんからね。

足跡があった場合、その日のものか、あるいは2~3日前に付けられたものかなど、釣果に影響しそうな情報を読み取り、続行するか、川を替えるか、あきらめて帰るかを決断します。その他水質や水温や潮汐、外来魚の繁殖状況など、考えるべき多くの要素があります。

川の状態を知ることは、その山の状態を知ることに繋がります。先行者の有無も大事ですが、水底の土砂の状態は特に重要です。比較的きれいと思われる川でも川底の石や岩に砂が付着していれば、上流での森林伐採や河川改修など、土木工事をしている場合があります。川底の石に毛足の長い藻が付着していれば、上流での大量取水による水量減少、あるいは生活排水の混入もあり得ます。

そのような状態の川では、カゲロウやトビケラ、カワゲラといった成虫になるまで川底の石の表面を生活の場とする昆虫にとって、生育を脅かされることになり、それらを主食とするヤマメやイワナ、オシヨロコマといった渓魚にとっても生息環境の悪化につながる事になるわけです。

環境省東川自然保護官事務所 佐藤 一 交

# 俳句

梅雨の傘中から花びらこぼれ落ち

万緑と力競べのロープウェイ

綿飛ばしほっとタンポポの吐息かな

健やかに泣いて笑って玉の汗

好ましや男の汗と白き歯と

バトン受け汗も出ぬ間にごぼう抜き

不揃いの雑路歩く汗の靴

腕ぬきをもて額の汗を拭ひけり

汗拭きし母の乳房の白きこと

球場の歓声マドンナの汗の目に

その人の生き方秘めし夏帽子

教室の汗の匂ひや五時間目

被災地や汗も涙も一拭ひ

山口 佐知子

高瀬 潤

石澤 清宏

澤田 久美子

松山 蓉子

三島 智

秋山 深雪

長谷川 きみゑ

小林 露葉

青野 公花

杉山 ひろのり

徳光 吐苦

杉山 りつ

